相崎佐和子 120号 ニュース

届ける！ 叶える！ あなたの声を！

Profile

【生まれ】1973年3月

【学　歴】私立親和中学・女子高校
（中学受験して神戸の中高一貫の女子校へ）
国立奈良教育大学・大学院
（国立大学の水泳部で青春。大学院は政治学ゼミ）

【職　歴】アナウンサー（フリーアナウンサー → 地元ケーブルテレビアナウンサー）
第12代兵庫県広報専門員
（県広報TV番組など企画から出演まで）
伊丹市議会議員（3期）第61代議長
兵庫県議会議員（1期）

【役　職】出産議員ネットワーク 関西ブロック代表
ローカル・マニフェスト推進連盟 前共同代表
（全国約800名が加盟　早稲田大学マニフェスト研究所と連携）

【受賞歴】第11回全国マニフェスト大賞　優秀賞（個人）
第16回全国マニフェスト大賞　グランプリ（団体）

【資　格】教員免許（小学校・中学校社会・高校地理歴史）

【家　族】夫・長女（高2）・次女（中1）

第36回 サワコの茶話会

普段思っていることなどを語り合う“サワコの茶話会”。

前半は相崎が参院選・今後・政策などをお話しして、後半は皆でワイワイと気軽に語り合います。「普段こんなことを思っている」「こうするべきだ」「相崎に言いたいことがある」など、なんでも語ってください。もちろん、聞いてみたい・雰囲気を見たいなどでも歓迎です。ぜひお気軽にご参加ください。

お会いできるのを心より楽しみにしております。

日時

2022年10月1日（土）
14：00〜16：00

場所

東りいたみホール3階
大会議室

※予約不要ですが、資料準備のためメールなどでご連絡いただけると助かります

※保育はありませんがお子様連れ大歓迎です

連絡先

相崎佐和子

〒664-0858　伊丹市西台5-1-11

(072)768-9260　(072)768-9261

sawako.aizaki@gmail.com

子育て　子どもを望む方々が安心して産み育てられるように

私は２人の子どもがいますが、１人目は出産時に雇止め、２人目は保育所の待機児童になりました。こんな状況で、望む若い方々が安心して子どもを産み育てることができるでしょうか。

ベーシックサービス（基本的な公的支援）を充実させ、働き方を改革して、子育てに関する金銭的・物理的・精神的な負担を軽減します。また、保育所の待機児童問題は、給与が低いことなどによる保育士不足が一因であることから、保育士の給与アップと処遇改善を進めます。

- 保育所の待機児童解消
- 保育士の給与アップ
- 特別支援の充実
- 男性の育児休業取得率アップ・
- 妊娠出産育児の一貫支援制度の導入
- 児童虐待防止の強化

保育所開所式

教育　すべての子が個性と能力を発揮できるように

今後進むであろうグローバル化・デジタル化の社会を生き抜くには、自分で考えて行動する力が求められます。それには、すべての子どもが個性や能力を十二分に発揮できるよう、教育を画一的全体的から多面的個別的ものに転換することが重要です。

児童生徒にきめ細かく関わることができるよう、少人数学級の推進・特別支援教育の充実、スクールソーシャルワーカーの拡充などに取り組みます。また、教員が雑務に忙殺される現状を改善して、児童生徒に向き合う時間を増やせるように教育環境を整えます。

- 少人数学級の推進
- 特別支援教育の充実
- スクールソーシャルワーカー等の拡充
- 部活動指導の外部委託・地域意向の推進
- 奨学金の貸与型から給付型への切り替え
- 教職員の勤務環境の改善

県立高校を視察

雇用　働く意欲がある人が働くことができるように

私は出産時に雇止めに会いました。またコロナ禍で多くの方が失業しました。働きたいのに働けないのは精神的にも金銭的にも大変厳しいものです。

女性・高齢者・障がい者・若者はじめ全ての働きたいと願う人が働くことができるよう、環境の整備を進めます。

デジタルなど成長分野での雇用の促進、有期雇用から安定した直接雇用への切り替えなどに取り組みます。

- 有期雇用から直接雇用への切り替え
- 雇用改善企業へのインセンティブ付与
- デジタル・グリーン・ローカル・ライフの成長分野での雇用促進
- UJIターンの促進
- 中小企業の人材確保
- 就職氷河期・若年層の雇用の安定

働き方　賃金アップで安定して暮らせるように

「自己責任」という言葉があります。もちろん頑張ることは素晴らしいし、それで成果を出すのは立派なことです。しかし、漠然とした不安を抱きながら一生ずっと頑張り続けなければならない社会でいいのでしょうか。自分のせいではないこと（子育て・介護・病気など）で人生レースから外れたら、自己責任として済まされて“負け組”になる社会でいいのでしょうか。

働いたらしっかりと暮らしていくことができるだけの賃金の確保、人生の様々なステージにおけるワークライフバランスの推進などに取り組みます。

- 最低賃金のアップ
- 所得税の累進性の見直し等税制改革の働きかけ
- 介護・育児休業取得率の向上
- 女性の就業継続の環境整備
- デジタル化による効率化の推進
- ワークライフバランスの推進

介護　長生きがリスクではなく幸せになるように

高齢化が進む中、介護の需要がますます高まります。ご高齢の方が安心して長生きができるように、ご高齢のご家族や親戚がおられる方が精神的・体力的・金銭的に負担なく介護ができるようにしなければなりません。介護士はじめ介護に携わる人材不足の対策として、給与アップと処遇改善を進めます。フレイル（加齢による衰え）や認知症の予防事業などを通して介護の未然防止を進めるとともに、高齢者の医療費や介護費が過度にならないよう努めます。

- 介護士等の給与アップと処遇改善
- 介護人材の養成の強化
- 地域包括ケアシステムの充実
- フレイルや認知症の予防事業の充実
- 介護離職ゼロ対策の推進
- ヤングケアラーの支援

福祉　障がいのある方、すべての方が暮らしやすいように

私の父は養護学校（現在の特別支援学校）の教員だったことから、障がいのある方と関わる機会が多くありました。議員としても、発達障がいの支援・特別支援教育が十分でない現状を改善すべく、力を入れて取り組んできました。

障がいのある方、支援を必要とする方が、子ども時代はもちろん一生を通じて然るべきサポートを受けることができる社会が、すべての人が生きやすい社会に繋がると思っています。

- 特別支援教育の充実
- 放課後等デイサービスの質の向上
- 障がいのある方の生活支援の充実
- 障がいのある方の就労・社会参加の促進
- 作業所の支援と職員の処遇改善
- 障がいのある方のグループホームの拡充

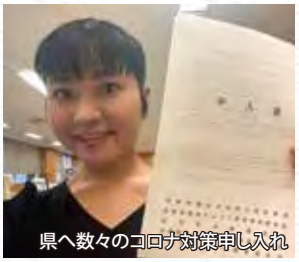
医療　安心して医療を受けることができるように

新型コロナウイルス感染症の蔓延により露呈した保健医療体制の綻びを立て直して、安心と信頼を取り戻す必要があります。コロナ前の地域医療構想は見直しが必須です。

阪神医療圏域において大変重要である新市立伊丹病院を、国県と連携して財務的技術的に支援します。

また医療従事者の労働環境や賃金の改善にも取り組みます。

- コロナをふまえての医療保健体制の強化
- 地域医療構想の見直し
- 保健所の抜本的見直し
- 新市立伊丹病院のバックアップ
- 看護師の給与アップ
- がん対策等の推進


県へ数々のコロナ対策申し入れ

環境　持続可能な環境を子どもたちに残せるように

地球温暖化対策のため、日本は2030年度に温室効果ガス46%削減（2013年度比）を掲げています。この目標が絵に描いた餅にならぬよう、あらゆる取り組みを、行政部門（国・県・市）と民間部門（企業・家庭）で促進しなければなりません。

エネルギー政策は、原発に頼らなくてもいいように再生可能エネルギーを進めていきます。

子ども、孫、これから生まれる子どもに、持続可能な未来を用意したい。今を生きる私たちの責任と役割だと思っています。

- 再生可能エネルギーの推進
- 環境配慮企業へのインセンティブ付与
- 食品ロス解消の取り組み支援
- 有機農業の普及促進
- 学校給食の地産地消推進
- 農福連携の推進

水素実証基地を視察

防災　災害が起こった時に困らないように

コロナ対策は喫緊の課題として最優先ですが、防災は不断であり、対策を継続しなければなりません。

南海トラフ大地震は40年以内に90%程度の確率で起こるといわれています。ゲリラ豪雨も毎年のように起こっています。

阪神・淡路大地震を経験した私たちだからこそ、経験と教訓を活かして、不断の防災に努めていきます。

- 自然災害に備えた基盤整備
- 災害時要援護者への対応強化
- 避難行動の対策強化
- 災害時備蓄品の見直し
- 防災副首都の関西誘致
- ウィズコロナ下での相互支援の構築

人権　多様性を認め合って支えあえるように

自分のせいではない理由で、頑張りたいことを頑張ることができなかったり、頑張るスタートラインにすら立てないことが、どれほどつらいことか。出産時の雇止めや、育児と仕事の両立での困難など私自身の経験から、性別・国籍・門地・年齢などが理由で不条理な思いや状況を抱える人がいない社会にしたい、これが私の政治の原点です。

多様性を認め合い、お互いに支えあうことで、心豊かに生きることができる、優しく温かい社会をつくります。

- ネット上の差別的書き込みモニタリングの充実
- 男女共同参画の推進
- 選択的夫婦別姓の実現
- 性的マイノリティの理解促進と支援強化
- 国際交流の推進
- 人権啓発教育の充実

財政　行財政適正化で財源を基本サービスの充実に活用できるように

推進すべき数々の政策を提案していますが、そのための財源はどうするか？国においては、所得税の累進性の強化、法人税率の見直し、金融所得課税の改革、などを進めるべきです。

市議会から県議会に移って感じたのは、規模が大きくなるために個々の事業が見えづらく、それゆえコスト意識が薄くなりがちであること。県も行財政改革を進めていますが、公社等の財政運営や新規事業について、費用対効果を厳しく審査します。

- 税制改革の働きかけ
- 行財政構造改革の推進
- 公社等外郭団体の財政運営の見直し
- 自主財源の見直し
- 行政保有施設の最適化
- 財政基金（貯金）の増額

自治　私たちのことは私たちで決められるように

皆さんは生活をして人生を送る中で「もっとこうなったらいいのに」「これはこう変えるべきだ」「これに困っている」など感じておられませんか？これらの想いは一番大事だと思っています。なぜならその思いが社会をよりよくする答えだからです。

民主主義の主役は私たちです。私たちが考え、議論し、決めることができるのです。私たちの想いや声を、もっと政治の場に届けて実現できる仕組みを進めていきます。

- 参画と協働の推進
- 意見交換会や座談会の実施
- 住民への説明等の充実
- 審議会等の多様な人材の参画
- 政策中心の政治の推進
- 議員活動の報告等の充実

届ける！ 叶える！ あなたの声を！

出産の時に雇止め！

教員をしていた母の影響で、昔から「結婚して子どもを持っても仕事をしたい」と思っていました。実際に結婚して妊娠し、ワーキングマザーとして頑張ろうと張り切ったのですが、まさかの出産による雇止めに。大変ショックで、とても困りました。

不条理を抱える人をなくしたい！

その体験から思ったのです。結婚・子育て・仕事・介護・・・人生の様々なステージで、私のように不条理な思いや状況を抱えて苦しんでいる方が、多くいらっしゃるのではないか。そんな人がいない社会にしたい。その思いで議員になったのが15年前です。

市議会議員・県議会議員として声をあげる！

そこから15年間、伊丹市議会議員・兵庫県議会議員として力を尽くしてきました。思いは一貫して、不条理を抱える人がいない社会にする、ということ。議員として様々に声を上げて取り組んできました。しかし未だ道なかば。まだまだ変えていかねばならないことが多くあります。

あなたのせいじゃない！

実は、出産時の雇止めの経験、これまで公にしていませんでした。仕事を切られたのは自分のせいだ、自分が力不足と思っていたからです。

しかし改めて考えたのです。不条理な思いや状況を抱えながら、かつての私のように“自分のせいだ”と思って、我慢しておられる方、あきらめている方が多くいらっしゃるのではないか。

でも私は声を大にして言いたい。

「それはあなたのせいじゃない。政治が何とかしないといけない課題なんだ！」と。

一緒に声をあげましょう！

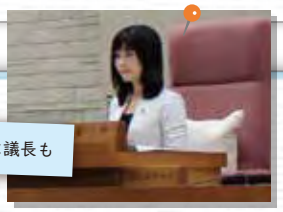
私は、政治の場に、あなたの声を届けたいんです。叶えたいんです。そう、他のだれでもない、私たちの声です。

一緒に声をあげましょう！

相崎 佐和子

これまでの活動

兵庫県広報専門員として県内を取材（写真は佐用町）

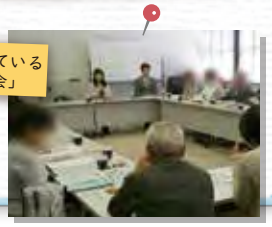

市議会では議長も

「出産議員ネットワーク」で関西ブロック代表、全国の仲間の議員と活動も

市議会議員・県議会議員を15年

全国マニフェスト大賞受賞

地域活動も精力的に


10年以上続けている「サワコの茶話会」

情報どんどん発信中！

もっと情報をお届けしたい、もっとお声をお聞きしたい。その思いから、様々な方法で情報を発信しています。
皆様に情報が届き、お声を聴かせていただくことができれば嬉しい限りです。

ホームページ
http://sawako-aizaki.com

Facebook
https://www.facebook.com/sawako.aizaki

Twitter
https://twitter.com/aizakisawako

Instagram

YouTube

メールマガジン「相崎佐和子レター」
親しい方に手紙をお送りする気持ちで書いています。
登録方法
下記の連絡先までメールアドレスをお教えください。メルマガ登録します。

活動ニュース
バックナンバーは下記HPに。
郵送希望はご連絡を